

有志のトウモロコシ

「春野耕作隊」が対面直売

栽培放棄地から「白くてサクサク」収穫



今季初収穫したトウモロコシを売り出す春野耕作隊メンバーら＝浜松市天竜区二俣町で

浜松市天竜区春野町の耕作放棄地の再生に取り組む団体「春野耕作隊」が十四日、町内で栽培したトウモロコシを同区のＪＡ遠州中央直売所などで販売した。

町内の若手農家や静岡文化芸術大生らの有志でつくる耕作隊が三月に種をまいて育てたのは、白くてサクサクした食感の新品種「クリスピーホワイト」。一本二百円で、今季初収穫した六百本以上を並べた。

同区二俣町の直売所「天竜山の市」で販売を手伝った同大二年で中山間地域支援サークル・ＬＡ－ＶＯＣ（シボック）の佐藤穂乃香さん（とほ）は「じかに会話して売るのは楽しい。少しでも地域活性化の助けになれば」と話した。

クリスピーホワイトは六月下旬まで。別の品種「ゴールドラッシュ」も七月から売り出す。（島将之）